



〒975-0031  
福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地  
TEL:(0244)26-1314  
FAX(0244)26-1318  
E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp

令和5年度 地域学校協働本部事業

## 地域学校協働研修会相双地区研修

- 研修テーマ：学校を核とした地域づくりの理解
- 日 時：令和5年12月19日（火） 時間帯：13:15～15:40
- 会 場：南相馬市鹿島農村環境改善センター（万葉ふれあいセンター）・大会議室
- 参加人数：29名（教職員7、行政職員5、放課後子ども教室等関係者4、NPO等子ども支援団体関係者8、保護者2、事務所3）

### 1 開会（13:15～13:30）

- （1）開会の言葉
- （2）主催者あいさつ（相双教育事務所 総務次長兼社会教育課長 滝本 裕彦）

### ○ 諸連絡

### 2 講話（13:30～15:00）

- （1）講師紹介 主任社会教育主事 角田 健太郎
- （2）講話及び実技研修 テーマ：「学校を核とした地域づくりの理解」  
講 師：とちぎ市民協働研究会 理事長 廣瀬 隆人 氏
- （3）内容 資料「学校を核とした地域づくりの理解」参照

・学校を核とした地域づくり～これはいったいなんなのか～  
文科省・・・地域づくりを行っていくことをめざしています。

学校を支援しつつ、人のつながりをしっかりとつくるのが大切。

・いったいなにをさせようとしているのか

学校応援団を作って学校支援をしたり、学校を支援するためのしくみをつくったりすることは目的ではない。

何か、新しいことをしなくてはならないのではないかと・・・そんなことはありません

今までとは異なる学校運営をするのではないかと・・・そんなことはありません

地域住民が学校運営や人事に介入してくるのではないかと・・・そんなことはありません

教職員の仕事や負担が増えるのではないかと・・・そんなことはありません（除：教頭）

地域の意見で学校がふりまわされるのではないかと・・・自業自得です

・学校運営協議会・・・気をつけないとすぐに形骸化する

そうならないために⇒大切なのは、人のつながりを作り、強くすることにあります。

- （1）健全な地域に健全な学校が存在する

（2）地域の良質な大人と子どもが会うことが教育効果を高める。多くの良質な大人は主に公民館に出入りしている。

- （3）学校・地域・保護者で教育責任を分担して、地域づくりの担い手を育てていく。

・地域学校協働活動

新規事業を開発するというのではない。既存の団体事業、学校行事をどのように地域学校協働活動にしていくなのかということが大切。1+1=1「いちたすいちは、太ったいち」

### 3 意見交流・質疑応答（15:10～15:40）

○ 3～4名での意見交換会を行った。廣瀬先生の講話をもとにそれぞれの立場やそれぞれの地域に照らし合わせながら積極的に意見交換や感想発表などを行った。

・自身の町でも研修の内容を生かしていきたい（町教育委員会社会教育主事）

・採用1年目なので、今後の業務に生かしていきたい（町教育委員会主査）

・PTAに携わっていた時に地域と学校のハブになれなかった（保護者）

⇒人と人とのつながりを大切に地域づくりをこれからも頑張ってもらいたい。

### 4 閉会（15:40）

### ○ 諸連絡

- （1）閉会の言葉



## 成果と課題

- 廣瀬隆人先生の話術と深い知見が受講者に対して最高の時間を提供して下さった。地域学校協働活動やコミュニティスクール等、聞いたことはあるけどはつきりとは分からないことを自分なりに理解できたのではなかろうか。
- 今回も様々な立場の人が集まってくださり、有意義な意見交換会も開催することができた。大人の学びの場として機能していた。
- アンケートの記述を見ると、教育事務所の研修会も楽しくてためになると感じていただけたようだ。今後も来て下さった方が楽しく学べるような研修を行いたい。研修を通して相双地域の人と人とのつながりを作っていきたい。
- 実施時期が学期末となってしまう、学校関係者の参加が少なくなってしまった。どの時期に開催しても社会教育関係の研修会には教職員の参加は少ないので残念なのだが、行政の方やPTAの方、NPOの方と交流が持てて視野も広がるのにと感じている。学校だけではもう立ちいかないことも多いと思うので積極的に社会教育関係の研修も受けてほしい。
- 人集めでポスター掲示等公民館や地教委の方に今回もお世話になった。生涯学習課のふくしま学びiのサイトも積極的に活用していきたい。
- 参加して欲しい方々に情報が提供されているのか不安が残る。周知方法の工夫が必要である。

## アンケート感想（年代 所属）

- ・ おもしろく楽しい研修会であった。30年前に先生のお話を聞いておきたかった。教育を分担することは大切である。（60代以上 放課後子ども教室関係者）
- ・ 吉本興業？と思える様な楽しい講演会でした。社会参加は子供のPTA活動からでした。楽しければ楽（らく）と活動していたことを思い出しました。（80代 NPO法人）
- ・ ユーモアあふれる、わかりやすい説明で、この制度の目的やしくみが分かりました。ありがとうございました。（50代 行政職員）
- ・ 地域と学校の在り方について、学ぶことができました。今後とも地域と共に協働できる学校教育に努めていきたいと思えます。（40代 教職員）
- ・ すばらしかった！また聞きたい！！（60代以上 NPO法人）
- ・ またじっくりと話を聞きたいと思いました。（60代以上 NPO法人）
- ・ とても聞きやすく、理解できました。本日はありがとうございました。地域でボランティアもして約20年学校におじゃましています。地域づくりもっと出来たらと思いました。※「絶対に来てよかったと思えます」の言葉通り、とても楽しかったです。（60代以上 放課後子ども教室関係者）
- ・ 「スリッパ出しは、学校でやってはいけない！！」がとても素敵でした。学校に用事が有って行くと立て看板にきちんと「お疲れさまでした」とか書いてあり、スリッパがならべてあります。どういう見方で…解釈するか…健全な地域に健全な学校が存在する。（60代以上 放課後子ども教室関係者）
- ・ 地域学校協働活動やコミュニティスクール、様々な資料を読んでも分かりづらく感じていた。理解できずにいたことや懸念していたことなど、ストレートで分りやすく説明いただいたと思う。学校と地域、そして行政が地元の状況に一番いい形で取り組んでいけばと考えています。ただ、やっぱり、学校の壁はとても分厚いかなと（笑）（50代 行政関係者）
- ・ 徐々に廣瀬先生の情熱的な話を聞いて元気が出ました。学校現場では教育課題が増えてきており、方向性を見失っているように思いますが、先生のお話を聞いて、改めて地域に根ざした学校教育でなければならないと考えました。子どもたちにもタブレットやスマホよりも地域の人々や地域を見るようにさせたいと思いました。（教職員）





## アンケート感想（年代 所属）

・「学校を核とした地域づくり」についての再確認と、新たな視点を得ることができました。特に学校運営協議会の持ち方について今後参考にしていきたいと思います。ありがとうございました。（40代 教職員）

・今後の取り組みに生かせそうな実践等が聞けてよかったです。次回の講演も楽しみにしています。（教職員）

・今回の研修では、学べることがたくさんあった研修だったと思いました。人との繋がりが土台にあってこそ地域の連携であり、協働の在り方が見えてくるということを実感したので今後の業務に結び付けて活動できればなと思います。（20代 行政職員）

・地域学校協働活動等について、とても分かりやすくユーモアあふれる講演を聴かせていただき大変勉強になった。地域連携担当を数年しているが、新しい視点を持つことができた。（40代 教職員）

・今回の研修会を通して、行政職員として「つながり」を生みだすきっかけや機会を提供できるように、私自身も「つながり」を大切にしていきたいと思いました。本日は貴重な機会をありがとうございました（20代 行政職員）

・思いっきり笑ってしまいました。すみません！（75歳 NPO法人）

・講話は楽しい中にも「地域づくり」について、ていねいに教えていただいたこと、ありがとうございました。地域学校協働活動をあまりむずかしく考えず、これまでの活動を見直しながら取り組んでいくことが大切なのかなと思いました。（60代 教職員）

・有意義であった。（60代 NPO法人）

・非常に有意義な研修となった。特に講話については明解だけでなく、痛快で時間を忘れるほどであった。内容についても、事例を交えながら分かりやすく教えていただいた。すぐにでも実践できそうな事例もあり、早速生かしたいと思った。ぜひまた廣瀬先生の講話をお願いしたい。（40代 行政職員）

・人のつながりがとても大切なことで、地域づくりの基盤になっていると改めて感じた。会場が寒く、講演中身体が冷えた。本当に勉強になりました。ありがとうございました。（30代 教職員）

